

次期SIP課題候補 「スマートインフラマネジメントシステムの構築」 第2回検討タスクフォース 説明資料



テーマ構成（案）の構築に向けて

令和4年8月9日

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局
インフラ・防災グループ

1. TF (スマートインフラ) のスケジュール

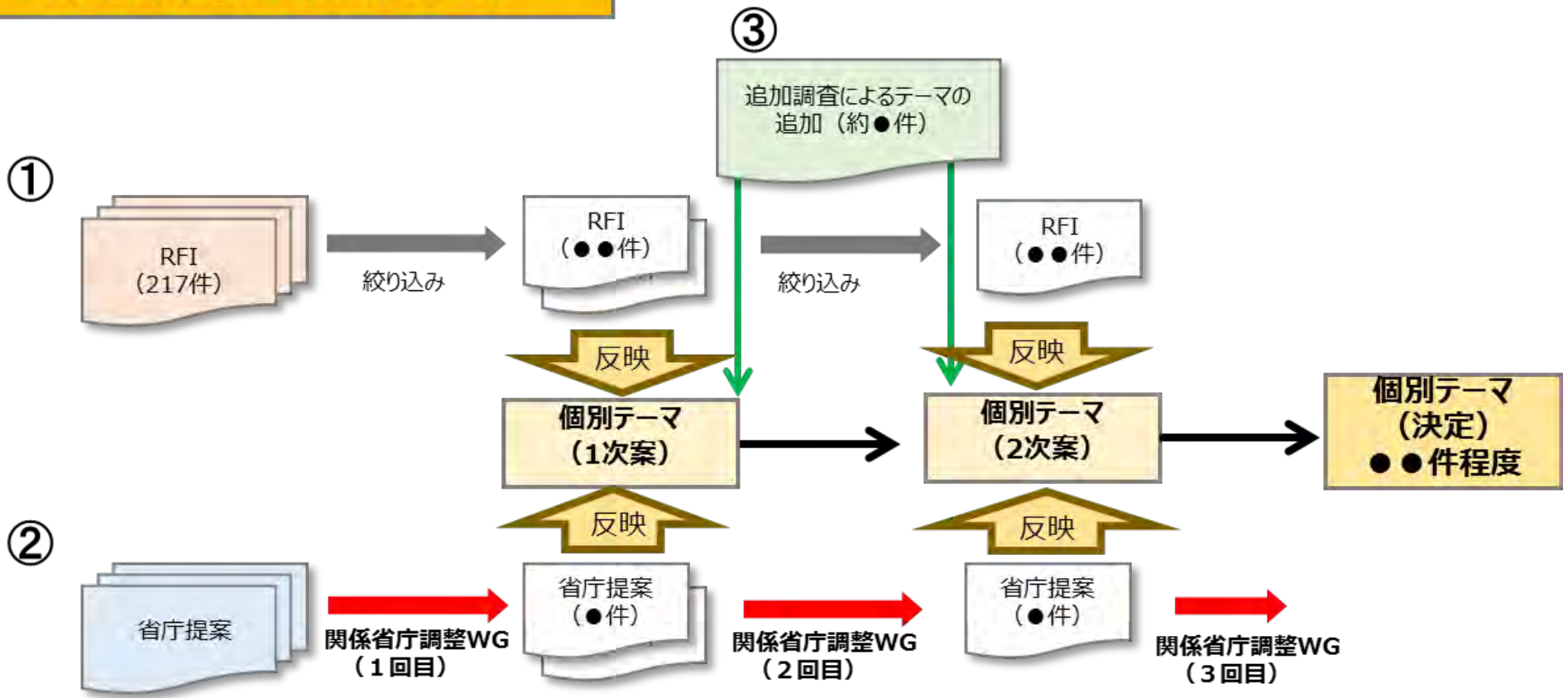
実施項目		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討タスクフォース		6/27第1回TF (キックオフ)	8/9 第2回TF (個別調査テーマ 1次案提示)		10/4 第3回TF (基礎的調査結果、 個別調査テーマ 2次案提示)		11/29第4回TF (個別調査結果、 (個別調査テーマ 最終案提示)	12/15第5回TF (研究開発計画 素案の提示)		1/XX GB(研究開発計画案) パブコメ	研究開発計画案決定
		府省庁 個別調整WG	第1回		第2回		第3回				
FS実施方針作成			1.0版作成	必要に応じ、改定							
調査 分析	基礎的調査	公募・審査		契約	基礎的調査 (社会課題、技術動向分析等) 中間報告						
	個別調査				個別調査 (技術実現性、事業性、社会受容性等) 中間報告						
社会実装戦略検討							実装イメージの具体化、各種計画への記載検討				
研究開発計画案 (体制、イメージ含む)							素案作成(実施計画、体制)		GB意見、パブコメ等を踏まえた修正		

■ 2. TF（スマートインフラ）の研究テーマの構築の進め方

■ 個別テーマ構築の対象

- ① RFIから整理したテーマ
- ② 関係省庁からR3年6月等に提案されたテーマ、及び新規提案
- ③ 研究推進法人による追加調査から設定するテーマ

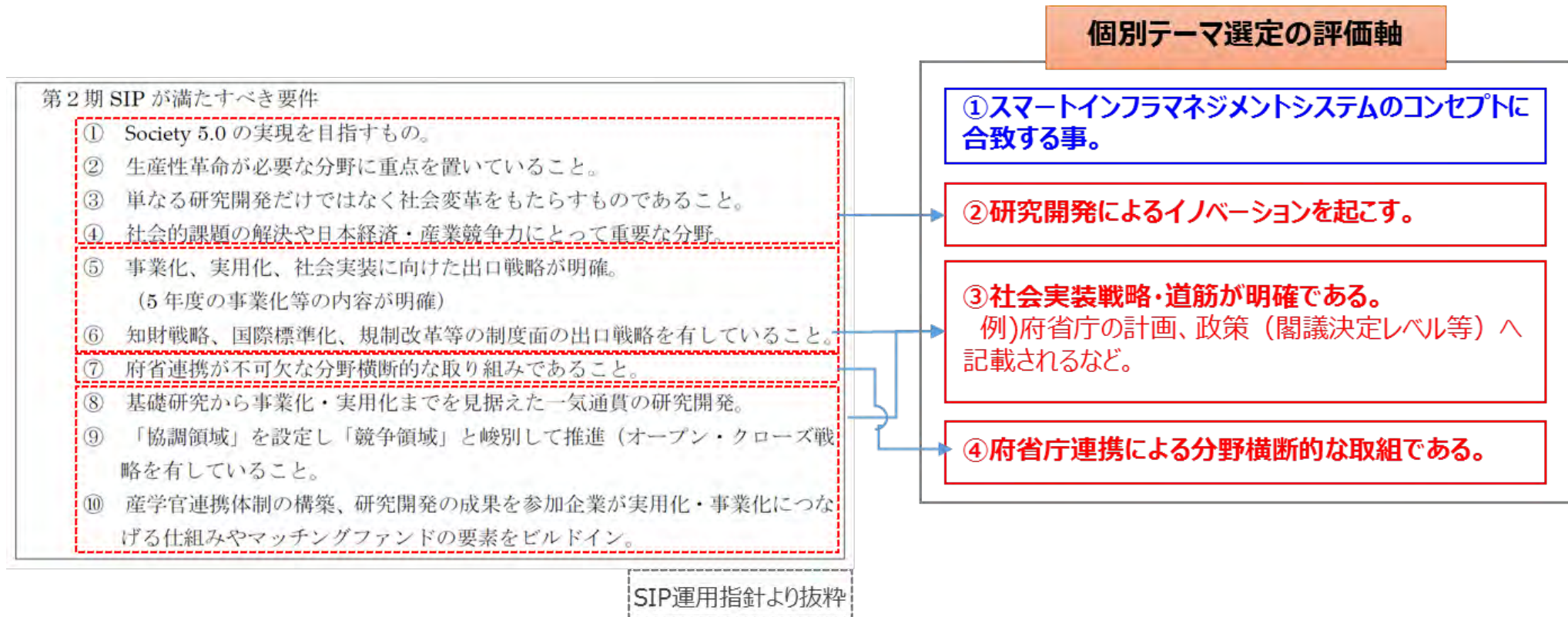
RFIを軸とした絞り込みイメージ



■ 2. TF（スマートインフラ）の研究テーマの構築の進め方

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）は、総合科学技術・イノベーション会議が司令塔機能を発揮し、府省や旧来の分野の枠を超え、基礎研究から実用化・事業化まで見据えて一貫通貫で研究開発を推進し、イノベーションの実現を目指すものである。

個別研究テーマの決定にあたっては、府省庁個別調整WGを開催し、「個別テーマ選定の評価軸」に基づき、RFI及び府省庁提案、FSの調査状況等から重点的に取り組んでいくべきテーマの構築を行う。



■ 3. TF（スマートインフラ）の研究テーマの構築の進め方

第2回WGでは、事務局からの「協議・調整事項」について、各府省庁で検討された結果について協議を実施させていただく予定です。⇒ 9月を予定

Sample

提出元	研究開発テーマ案名称	概要	個別テーマ検討に向けての協議・調整事項
●●省	国土の動的災害リスクの可視化	多種多様なセンサデータを統合的に収集・分析し、国土の災害リスクを広域に面的かつリアルタイムで把握・可視化する研究開発に取り組む。	例) <ul style="list-style-type: none"> ・SIPで取り組む技術開発要素の明確化 ・第2期研究開発からの新規性、発展性の整理 ・災害時の運用イメージ(誰がどのように活用するのか) ・関係府省庁と一体的な取組として整理できるか ・社会実装、運用主体のイメージ

スケジュール

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
6/27第1回TF (キックオフ) ●	8/9 第2回TF (個別調査テーマ 1次案提示) ●		10/4 第3回TF (基礎的調査結果、 個別調査テーマ 2次案提示) ●		11/29第4回TF (個別調査結果、 (個別調査テーマ 最終案提示) ●	12/15第5回TF (研究開発計画 素案の提示) ●
府省庁 個別調整WG	第1回 →		第2回 →	第3回 →		



第1回WGにおける事務局の整理事項を元に、第2回WGに向けて、関係府省庁にて引き続き検討、整理をお願いします。

■ 4. テーマ構成 (案) の構築に向けて

・次期SIP「スマートインフラマネジメントシステムの構築」RFI結果整理 (R4/ 4 / 1 内閣府科技事務局HP)

【09 スマートインフラマネジメントシステムの構築】 通し番号027

コンセプト

インフラ・建築物の老朽化が進む中で、デジタルデータにより設計から施工、点検、補修まで一体的な管理を行い、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを推進するシステムを構築する。

<RFI結果を踏まえた課題の構成案>



凡例
 (N): RFI数
 太字: サブ課題 (案)
 主なサブサブ課題 (案)

<PD候補に求められるスキル>



○インフラの建設・維持管理・運営に関して、IoTやロボット、AIなどの最先端技術の知見を有し、かつ将来像を見据えて業界・分野を超えてマネジメントできる知見、経験、ネットワークを有すること